

パブリックコメントでいただいた意見の概要及び意見に対する市の考え方（考慮した結果及びその理由）

パブリックコメント期間：令和8年2月10日（火）～3月11日（水） 意見提出件数：1件

No	意見の概要	意見に対する市の考え方 (市民への説明内容)
	<p>件名：中学校給食のカロリー維持と物価対応に関する意見</p> <p>私は市内の学校給食の利用者（保護者または市民）として、令和6年度から実施された給食費無償化に関して意見を申し上げます。現在、中学生の1食あたり（2月時点）の給食の平均カロリーは約708kcalであり、文部科学省の基準である約830kcalに比べ122kcal不足しています。また、1食あたりの予算は平均306円であり、基準カロリーを確保するには理論上約357円が必要です。差額は約51円/食に相当します。この状況から、以下の点を要望いたします。</p> <p>●給食のカロリー基準の確保</p> <p>無償化により保護者負担が軽減される一方で、現状の予算では基準カロリーを満たすことが難しい状況です。市行政として、食材費・栄養基準が十分確保されるよう、実質的な予算配分の見直しをお願いします。</p> <p>●物価スライド制度の導入</p> <p>食材費の物価変動に応じて、予算が自動的に調整される仕組みを設けることで、カロリーや栄養内容を安定して提供できる体制を検討してください。</p> <p>●追加補正予算や交付金活用の明確化</p> <p>必要に応じて、国の交付金や臨時予算を活用し、物価高騰に</p>	<p>・カロリー確保について</p> <p>令和2年度に日本食品標準成分表（8訂）に改訂が行われ、これまでと同じ献立でも、カロリーは下がるように表示されます。国の学校給食摂取基準は全国的な平均値を示したものであり、運用に当たっては個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実状等に十分配慮し、運用することとされており、基準と大きく乖離のないよう留意しながら、食育や栄養バランス、地元食材の活用など様々な観点から、献立を作成しているところであります。</p> <p>・物価スライド制度、補正予算や交付金活用について</p> <p>食材費につきましては、年度途中で物価高騰等による予算が不足することが見込まれた場合は、その都度補正予算要求を行い、対応しているところであります。また、国の交付金等につきましてもこれまで活用しているところであります。今後も食材費の財源として活用できるものがあれば、活用する考えであります。</p> <p>いただきました御意見につきましては、今後の市の施策の参考にさせていただきます。</p>

よる食材不足を補う方針を公開していただきたいです。

中学生の成長期における栄養確保は、学習能力や健康にも直結する重要課題です。給食費の無償化は大変意義のある施策ですが、同時にカロリー・栄養の安定確保に向けた取り組みも不可欠であると考えます。今後の給食運営において、予算と栄養基準の両立を強く希望いたします。

西日本新聞 2025年6月記事⇒
<https://www.nishinippon.co.jp/item/1364185>